

科学技術連携施策群 バイオマス利活用連携群
「バイオマス利活用の促進に向けた各省の施策 2008」報告
環境・エネルギー G

1. 日 時 平成20年12月11日(木) 10時00分～17時00分
2. 場 所 JA会館JAホール(東京都千代田区大手町)
3. 参加者 213名
4. プログラム

(1) 薬師寺泰蔵・総合科学技術会議議員より開会の挨拶があり、科学技術連携施策群(バイオマス利活用連携群)の対象施策について報告が行われた。また、報告本数は8本で、報告タイトルは、以下のとおりである。

報告後には、鈴木基之・総合科学技術会議連携施策群コーディネータの司会で、各省担当者をパネリストとして招き、「各省の連携による成果」というテーマでパネルディスカッションを行った。

報告タイトル

【バイオマス利活用技術開発トピックス】

- 1) シロアリ共生微生物群によるバイオマス資源の分解・変換機構の研究(文部科学省)
(独)理化学研究所 基幹研究所環境分子科学研究推進グループ環境分子分解化学研究チーム
チームヘッド 大熊 盛也
- 2) ゼロCO₂ 社会に向けた木質バイオマス活用技術開発と再生可能エネルギー融合システムの屋久島モデル構築に関する技術開発(環境省)
鹿児島大学工学部科学生体工学科 准教授 高梨 啓和
- 3) 可燃ごみのバイオマス利活用に向けて高効率乾式メタン発酵システムによるエネルギー回収(経済産業省)
穂高広域施設組合穂高クリーンセンター 事務局次長 二條 久男

【バイオマスエネルギー地域システム化実験事業】

- 4) 小型高効率の新しい電力・液体燃料供給プラントの開発「農林バイオマス3号機」実証プラントの成果(農林水産省)
長崎総合科学大学 新技術創成研究所 特任教授 坂井 正康
- 5) 下水道施設を活用した公共事業由来バイオマスのエネルギー利用(国土交通省)
独立行政法人土木研究所 材料地盤研究グループリサイクルチーム 上席研究員 岡本 誠一郎

【バイオマス連携施策群・補完的課題】

- 6) バイオマス利活用システムの設計・評価手法
横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授 藤江 幸一
- 7) 地域完結型燃料システムの構築と運営
東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 五十嵐 泰夫

【バイオマス利活用施策】

- 8) 科学技術政策におけるバイオマス利活用(内閣府)
内閣府 総合科学技術会議 政策統括官付参事官(環境・エネルギー担当) 原沢 英夫

5. その他

- (1) 施策担当者並びに施策に関連する研究者同士のコミュニケーションを促進することができ、将来的にさらなる連携活動に資することが出来た。
- (2) アンケートの結果、連携群、本シンポジウムの継続を期待する意見が多かった。また採択課題に対する評価も高かった。